

地域住民による総合型地域スポーツクラブ
クラブアルタス



2月の設立総会に集まった運営委員の皆さん

きっちり おばま 人

今年2月に市民有志によって発足した総合型地域スポーツクラブ「クラブアルタス」。市民参加型で小浜市のスポーツ振興を図る団体です。

「きっかけは、子どものスポーツクラブに保護者として参加したことでした。クラブの指導者が指導もマネージメントもしなければならず、手が回らない状態になっていたのを見て、運営面をサポートする組織の必要性を感じました」と話すのは、副代表の中井浩嗣さん（南川町・47歳）。そんな時、文部科学省も推進して、全国的に注目を集めている、住民が組織する総合型ス

将来の夢は、オリンピック選手を出すこと！

スポーツクラブの存在を知ったそうです。「プロアスリートによるスポーツ教室や指導者講習会の開催、クラブの広報など、運営面のお手伝いをする組織を作り、分業制にすることで、指導者は指導に専念できるようになり、子どもたちにはよりよい環境を与えられるのではないかと思います」と話します。

22人のメンバーと月1〜2回会議を開きながら、参加クラブのサポートについて話し合っています。現在、アルタスには、サッカー、テニス、ゴルフなどのクラブや教室が登録し、約200人が活動しています。

今後の活動について尋ねると、「まず、市民の皆さんにアルタスの存在を知ってほしいです。スポーツをやりたい人には、アルタスが窓口となり、人と人をつなげるお手伝いをしますし、クラブには企画や告知など運営面のサポートをします」と、意気込みます。

「各クラブの現場に行くと、子どもたちが元気に明るく活動をしているので、力になります。将来の夢は、アルタスがサポートしたクラブからオリンピックや日本代表選手を出すことです」と、小浜のスポーツ発展への思いを力強く話してくれました。

■問い合わせ アルタス事務局
☎58・0837（市総合運動場）
メール altas.fc@gmail.com

協働のまちづくり情報BOX (vol.11)



協働の下地づくりは地域力を高めること

■問い合わせ 市民協働課 内線372

前回までの市民協働課の担当に続いて、今回は、課長の声をお届けします。

●昭和30・40年代の高度成長期から景気がどんどんよくなり、役所も職員を増やし行政サービスを拡大。おかげで生活や文化レベルも向上しましたが、これに伴い、市民ニーズも多様化、高度化し、ここに来て、少子高齢化と人口減少時代を迎え、民間の経済活動が厳しくなり、税収も落ち込む状況となりました。

●このような中、行政においては、固定・経常経費の割合が高くなり、あらゆる市民ニーズに応じることが困難になってきました。全国どこの自治体もこの状況を直視せざるを得ない状況となり、まちづくり手法としての協働が注目されるようになりました。

●財政的な問題もありますが、これからは、本来、地域住民で

やらなければならないことを役所がやってきたのではないかと、この部分を元に戻す時期にきているのではないかとという観点が必要なのかもしれません。

●役所だけではまちは創れません。市民の皆さんの力をまちづくりに活用してもらうことが、今後、求められることです。

●行政と一緒にやるには税金が使われます。有効に使うためには、市民が納得できる使い方が求められます。そこで市民の皆さんの知恵や経験そして思いが活かされることになりま

●一方、生活圏の拡大とともに地域への帰属意識が希薄化し、地域に関心が持てなかったりして、自治会や各種団体などの地域コミュニティが弱体化しているといわれています。

●市としては、まずは協働の下地づくりとして地域力を高めるため、地縁型組織である各地区のみちづくり委員会の足腰をしつかりすることから始めていきたいと考えています。

山柳

若狭湾川柳舎

祭り寿し母には勝てぬかくし味 広峰 斎藤 文子
限定というトリックに無駄を買う 堀屋敷 白石 恵子
悔しいから迂回はしない向かい風 駅前町 藤本きぬゑ

短歌

口名田短歌会

玄関の明かりを求め寄りて来る 虫を狙ひて守宮動かさず 下中井 大江 青流
吾と共に嫁ぎきたりし蛇の目傘 雨知らぬまま破れてをりぬ 奥田繩 落合 美予子
紺碧の海に浮かべる厳島 朱塗りの社の回廊めぐる 下中井 辻 信子

俳句

小浜市俳句作家協会

根をつけし儘の流木秋の潮 北長町 伊勢 静枝
幽けくも早鐘打ちて鉦叩 神田 島田 玲子
片蔭の切れし顔日に出でて老け 小松原 森田 昇

広告

広告

広告

広告

広告

広告